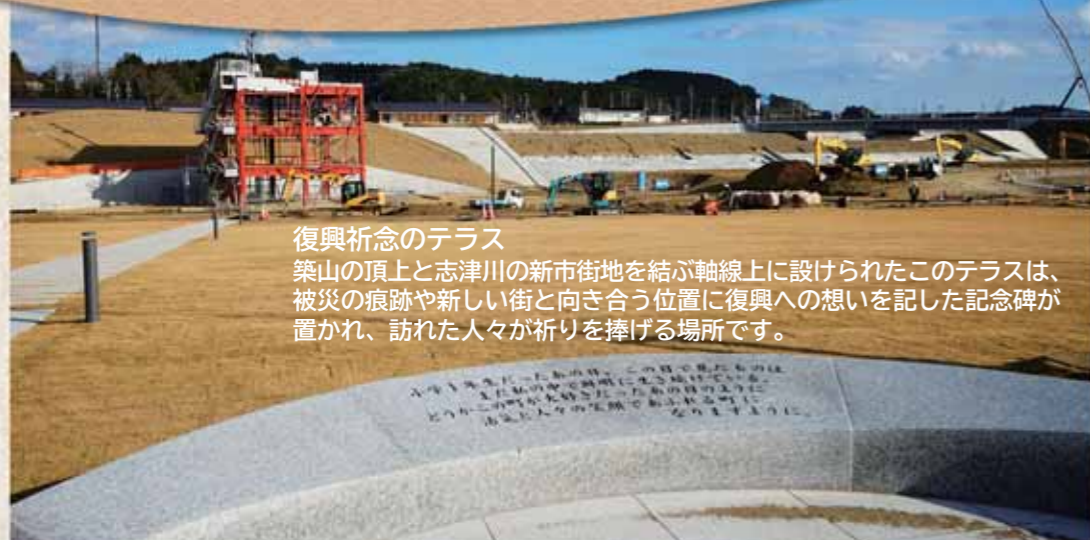


# 南三陸町震災復興祈念公園整備のテーマ

## 追悼・継承・感謝そして未来を想像する協働の場

東日本大震災およびこれまでの自然災害による犠牲者を悼み（追悼）、震災の記憶と教訓を風化させることなく次世代に受け継ぎ（継承）、大自然への畏敬とともにその豊かな恵みを讃え（感謝）、復興をなしたけた町の未来の姿を人々とともに想い描く（想像）、そのための場を人々の協働によって創りつづける。



**復興祈念のテラス**  
築山の頂上と志津川の新市街地を結ぶ軸線上に設けられたこのテラスは、被災の痕跡や新しい街と向き合う位置に復興への想いを記した記念碑が置かれ、訪れた人々が祈りを捧げる場所です。

### 「復興祈念のテラス」に刻まれたメッセージ

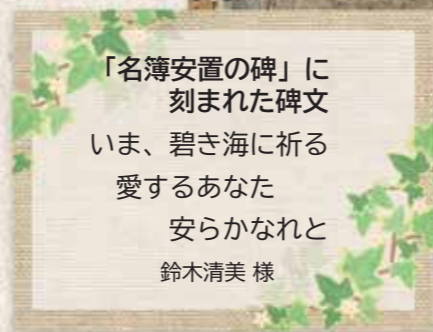
小学1年生だったあの日、この目で見えたものはまだ私の中で鮮明に生き続けている。  
どうかこの町が大好きだったあの日のように活気と人々の笑顔であふれる町になりますように。

西條瑠奈 様



### 「名簿安置の碑」に刻まれた碑文

いま、碧き海に祈る  
愛するあなた  
安らかなれと  
鈴木清美 様



### 祈りの丘・名簿安置の碑

「山の軸」「海の軸」「祈念の軸」が交差する海拔20mの築山の頂上には、東日本大震災犠牲者名簿を安置する石碑が追悼の言葉を添えて設置され、犠牲者の御霊に向かって手を合わせ、祈りを捧げる場所となります。



上山八幡宮

保田羽山

# 南三陸町震災復興祈念公園が一部開園しました



平成23年3月11日午後2時46分に発生したマグニチュード9.0の東日本大震災の大津波により、南三陸町では、死者・行方不明者が800名を超え、過去に例をみない極めて甚大な被害が発生しました。南三陸町震災復興祈念公園は、東日本大震災によって犠牲となられた方々の追悼・鎮魂の場であるとともに、甚大な被害の記憶や教訓を継承し、震災からの復興を祈念する場として整備され、令和元年12月17日(火)に「祈りの丘」「復興祈念のテラス」を含むエリアが一部開園となりました。今後も、令和2年秋の公園全体の開園を目指し、工事を進めていきます。

**記憶の広場・メモリアルレリーフ** 失われたまちや人々の記憶を風化させることなく後世に伝えるため、東日本大震災発生前の志津川地区の地図を石板に刻んだレリーフを園路が交わる公園の中心に設置し、記憶の広場としています。



**記憶のみち** 東北地方太平洋沖地震の発生から最大津波がこのまちに襲来するまでの出来事を、時間の経過に沿って刻字したこのみちをたどることで、東日本大震災の記憶を後世に伝える場とします。



**高さのみち** 東日本大震災の記憶を伝承するために、志津川地区の市街地に襲来した津波の平均高さ（海拔16.5m）に設定されたこのみちを歩くことによって、押し寄せた津波の高さを体感することができます。



## 公園の概要

公園の名称	南三陸町震災復興祈念公園
公園の位置	南三陸町志津川字塩入外地内
公園の面積	約6.3ha
整備年度	平成28年度から令和2年度まで
開園時間	当分の間、午前9時～午後4時